

謹啓 先般 亡父 佐藤義男の葬儀に際しましては

ご多用のところ ご会葬を賜りましたうえ ご丁重なるご厚志を頂戴し
誠にありがたく厚く御礼申し上げます

おかげさまをもちまして 本日 四十九日の法要を滞りなく営みました
つきましては 供養のしるしとして心ばかりの品をお届けいたしました
ご受納くださいますようお願い申し上げます

まずは書中をもちまして 御礼のご挨拶を申し上げます

令和八年十二月二十日

敬白

喪主 佐藤 健一

親族一同

この例の書き方のメモ

- ・句読点は付けません。区切りは全角の空白です。
- ・日付は、法要を営んだ日です。本文の「本日」と同じ日になります。
- ・結語は「敬白」にしています（敬具とする例もあります）。

謹啓 先般 亡父 中村正夫（法名正信）の葬儀に際しましては
ご丁重なるご厚志を賜り 誠にありがたく厚く御礼申し上げます
本日 満中陰の法要を営みました
つきましては 心ばかりの品をお届けいたしました
ご受納くださいますようお願い申し上げます
略儀ながら書中をもちまして 御礼のご挨拶を申し上げます

令和八年十二月十八日

敬白

喪主 中村 和也
親族一同

この例の書き方のメモ

- ・「戒名」ではなく「法名」と書きます。法名は、寺院から授かったものをそのまま書きます。
- ・法名の欄は【 】で空けてあります。ここでは架空の法名を入れた例です。
- ・「供養」「冥福」「追善」「霊」は使いません。

謹啓 先般 母 高橋花子の帰天に際しましては

ご多用のところ ご会葬を賜りましたうえ ご丁重なるご厚志を頂戴し
誠にありがとうございました

本日 三十日目の追悼ミサを滞りなく済ませました
つきましては 心ばかりの品をお届けいたしました
ご受納くださいますようお願い申し上げます
略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます

令和八年十一月二十七日

敬白

喪主 高橋 直樹
親族一同

この例の書き方のメモ

- ・カトリックは「帰天」、プロテスタントは「召天」と書く例です。教会や教派で違うので、所属の教会に確かめてください。
- ・「供養」「成仏」「冥福」「法要」は使いません。追悼ミサの日取りは教会で確かめます。
- ・日付と喪主の名前を、ご自分のものに打ち替えます。